

表紙の言葉

『黒漆琴高仙人宝尽螺鈿箱』

全体を夜光貝の螺鈿で飾った、方形の箱です。螺鈿とは、薄く加工した貝を文様の形に切って貼り、文様を表現する技法です。

縦横24センチ、高さ12.9センチとわりと大きな箱で、箱の内側に緞子が張られています。貴重品を入れて箱ごと飾っていたのかもしれませんが。

蓋の表には、窓枠の内側に花を持って魚に乗った人物の図が表され、外側を卍文繫ぎで埋めています。一方蓋の側面は、それぞれ枠内に宝尽くし文、枠外は七宝繫ぎ文となっています。

蓋表の、魚に乗った愛嬌のある人物は、琴高仙人という中国の伝説の仙人です。中国は周代（紀元前1046頃—紀元前771年）の趙の人で、琴の名人でした。宋の康王の舎人となり、各地を周遊すること200年余、弟子に龍の子を捕らえてくると言って水中に入り約束の日に鯉に乗って現れた、という話や、また後に赤鯉に乗って天に昇ったという伝説があります。その話が中国だけでなく日本の絵画や工芸の題材となっており、琉球漆器でも琴高仙人をモチーフとした作品がいくつか作られました。

琴高仙人の図が好まれた背景には、仙人が長寿であったことから長寿のシンボルとされたことや、鯉が「龍の子」であり「鯉の滝登り」と同様天に昇って龍となる＝出世する、などのおめでたい意味合いが重ねられていたようです。

側面の宝尽くし文も、宝瓶や蓮の花、巻子など、様々な縁起の良いものをちりばめた文様です。この作品には、こうしたおめでたい意味合いの文様がいくつも組み合わさって、用いられています。

この螺鈿の箱は現在、常設展示の「琉球漆器名品室」に展示されています。平成21年3月までの展示予定となっていますので、今度のお正月、琴高仙人を見ておめでたい気分を味わうのはいかがでしょうか。

(岡本)



美術館スケジュール 2008年12月～3月

■常設展

琉球王朝文化の華—漆芸—

■平成20年度後期 「塗る・貼る・描く漆たち」
10月7日（火）～平成21年3月下旬

■企画展

■美術展自主企画
平成20年

・12/17(水)～12/28(日) 第9回 浦添市内小中学校美術作品展

平成21年

・1/17(土)～2/15(日) 親子アトリエ展
・2/25(水)～3/1(日) 美術館実習教室発表展
・3/5(木)～3/22(日) 第2回 現代琉球漆芸作家展

■その他

平成20年

・11/29(土)～12/7(日) 宮城保武グラフィック・アート展
・12/11(木)～12/14(日) 謙慎書道会九州沖縄展

平成21年

・1/9(金)～1/12(日) 浦添工業高校デザイン科卒業作品展
・2/18(木)～2/22(日) 小杉紘南(紘子)書作展
・2/25(水)～3/1(日) 浦添市美術館友の会作品展

開館時間

午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
*金曜日は午後7時まで（入館は午後6時30分まで）

休館日

毎週月曜日（公休日の場合は開館）
*年末年始にともなう臨時休館12月29日(月)～平成21年1月5日(月)

開館日のお知らせ

当美術館の休館日は毎週月曜日となっていますが、月曜日が公休日の場合は開館しています。またその際、代休日は取らずに次週の定期休館日まで連日開館します。どうぞお気軽にご来館ください。

小黒三郎 組み木ワークショップ 募集のお知らせ

1. 組み木のワークショップ

場所：浦添市美術館 ピロティ(カフェ花うるし横)
定員：各コース15名（先着順）

	日程	時間	内容	参加費
A コース	1/10 (土)	10:00 ~ 12:00	十二支の 親子を作る	1,000円
B コース	1/10 (土)	13:30 ~ 16:00	絵パズル	1,500円
C コース	1/11 (日)	10:00 ~ 12:30	ゆらゆら 人形	1,500円

※A・B・C各コースとも、電動糸のこを使って制作します。

2. 糸のこパフォーマンスと講演（無料）

日時：2009年1月11日（日）13:30～15:30
場所：浦添市美術館 実習教室2

お申込みは美術館までお電話ください。
（受付時間：9:30～17:00）

休館日は対応できませんのでご了承ください。

編集・発行 浦添市美術館

〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1丁目9-2

Tel: 098-879-3219 Fax: 098-878-1221

http://www.city.urasoelg.jp/art/